

目次

はしがき

序章 分断と統合——予備的考察……… I

I 現代社会の分断——本書の課題 1

II 憲法学における統合と分断——予備的考察 I 4

III 社会科学上の統合と分断——予備的考察 II 8

1 社会統合のプロセスと複数の分断線 8 / 2 基底的分断としての経済的分断の構造 11

第1章 社会統合装置としての戦後フランス憲法とフランスモデル……… 14

I 自由主義的憲法による社会統合とその限界 14

II 前史——人民戦線とレジスタンスのフランスモデル構想 16

1 人民戦線の社会・国家構想 18 / 2 レジスタンスの戦後改革構想 24

III 第四共和制憲法と戦後フランスモデル 28

1 第四共和制憲法制定過程 28 / 2 戦後フランスモデルの規範的表現としての第四共和制憲

法 30 / 3 戦後フランスモデル 35

IV 第五共和制憲法とゴーストIIモデル 40

1 第四共和制の崩壊と第五共和制憲法の成立 40 / 2 第五共和制憲法の特質 45 /
 3 ゴーリスト II モデル 49 / 4 第五共和制憲法の運用と改正 63

第2章 フランスモデルの揺らぎと「イスラム」問題……………76

I 移民受け入れの歴史の変遷 76
 1 第一の波 77 / 2 第二の波 79 / 3 第三の波 80
 II 今日のムスリムのプレザンス 82
 1 移民人口の変動 82 / 2 ムスリムのプレザンスと覚醒 83
 III フランス的移民対応とその破綻 85
 1 移民対応の二類型 85 / 2 移民問題 II 「イスラム問題」のイデオロギー性 89

第3章 ライシテと信教の自由——イスラムスカーフ禁止と公共空間の変容……………91

I 信教の自由とライシテ原則 91
 1 信教の自由とその限界 92 / 2 ライシテ原則 96
 II イスラムスカーフ事件 103
 1 事実と争点 103 / 2 コンセイユ II デター一九八九年答申 105 / 3 ジョスパン通達 106
 / 4 判例 109
 III ライシテ原則の政治的変容——教育法典改正法 115
 1 二〇〇四年三月一五日教育法典改正法 115 / 2 判例 118

第4章 自由と安全——テロ対策と公共空間の変容……………123

I 自由・平等とテロ対策 123

1 自由・平等と安全 123/2 安全とテロ対策 124

II テロ対策に関する並びに安全及び国境検査に関する諸規定にかかる

二〇〇六年一月二三日法第六条・第八条 125

1 立法の背景と経緯 125/2 二〇〇六年一月二三日法第六条・第八条概要 127/3 二〇〇六年一月二三日法第六条・第八条の問題点——提訴理由 129

III 憲法院二〇〇六年一月一九日判決 131

1 法案第六条に関する判断 131/2 法案第八条に関する判断 132

IV 憲法院二〇〇六年一月一九日判決の意義 133

1 権力分立違反について 133/2 プライバシー権侵害について 135/3 比例原則違反について 136

V テロ対策と公共空間の変容 138

1 テロ予防策としての監視ビデオの有効性 138/2 二〇〇六年一月二三日法と公共空間の変容 139

第5章 共生とマイノリティの自由——ブルカ禁止と公共空間の変容……………141

I ブルカ禁止法の背景——二〇〇〇年代の社会情勢と政治動向 141

1 ムスリムのプレザンス 141/2 「移民問題」・「郊外問題」をめぐる政治動向 142

II 二〇一〇年五月一日国民議会決議 143

1	二〇一〇年五月一日国民議会決議の位置	143	2	二〇一〇年五月一日国民議会決議概	
要	145	3	二〇一〇年五月一日国民議会決議の限界	147	
III	フランスの共和主義	150			
1	républiqueの多義性	150	2	フランス第五共和制憲法におけるrépublique	152
IV	二〇一〇年一月一日法(ブルカ禁止法)の諸問題	156			
1	問題の所在	156	2	規制目的	158
			3	規制対象	170
V	憲法院二〇一〇年一月七日判決	172			
VI	原理主義的共和主義とマイノリティの自由	173			
1	二つの共和主義——消失点としての <i>res publica</i>	173	2	公的自由の私化	177
VII	ヨーロッパ人權裁判所判決	178			
1	ヨーロッパ人權裁判所二〇一〇年二月二三日判決	178	2	ヨーロッパ人權裁判所二〇一四年七月一日判決	180
第6章 緊急状態下の人権——常態化する緊急状態と公共空間の変容………183					
I	フランスの例外事態(国家緊急権)制度	183			
1	合囲状態(<i>état de siège</i>)制度	184	2	大統領非常権限(<i>pouvoirs exceptionnels</i>)制度	
	(非常事態制度)	186	3	例外状態(<i>circonstances exceptionnelles</i>)	187
	(<i>d'urgence</i>)制度	188	4	緊急状態(<i>état</i>)	
II	二〇一五年一月一日〜二〇一七年一月一日の緊急状態下の人権	192			
1	緊急状態下の例外措置	192	2	二〇一五年一月一日〜二〇一七年一月一日の緊急状	

索引 251

【注】

態のプラテイク	197 / 3	緊急状態の非政治部門によるコントロール	204
III 緊急状態下の信教の自由	206		
1 緊急状態下におけるフランスのイスラモフォビア	206 / 2	ブルキニをめぐる政治の論理と法の原理	209
IV 緊急状態法の普通法化	216		
1 緊急状態の恒常化という矛盾	216 / 2	テロ対策としての緊急状態法の普通法化	217
I 今日のフランスにおける分断	221		
1 宗教的分断	221 / 2	経済的分断	229
II 新たな統合の模索	242		
1 今日の診断	242 / 2	政治的コンフィギュレーションの変動	244 / 3
デル	248	新しいフランスモ	
			221